

新宮山彦ぐるーぶ第1972回―4  
春季連休中の持経宿・平治宿の巡回

◇実施日：平成30年5月06日(日) (晴)

◇参加者：沖崎吉信。

計1名。

大型連休最終日の今日は、急遽出かける事にした。連休中5回の日帰りだ。

7時半過ぎ自宅を出て、9時に池郷林道に入る。

ゲート迄は順調。途中、5人の下山組に出会う。昨夜計5人が持経宿に泊った「綺麗だし気持ち良く寝られました」とお礼の言葉がある。

ゲート先は、前回(4/30)とさほどの差は無いが乗入車は制限される。

10時少し前に持経宿に到着。小屋内で札幌市から来たと言う女性一人が食事中であった。行仙宿まで行って泊るが、明日雨なのでどうしたものかと悩んでいた。

一人の行者が入って来た、予約電話のあった名古屋市・伏木行者さんだ。毎年、山上ヶ岳の戸開け式に参加の帰路、熊野本宮迄歩かれています。歩いているのは、椎木・今野さんと伏木さんの3人だけだろう。毎年電話でやりとりしているが、始めてお目にかかった。早速、名刺を頂く。「本山修験宗・聖護院門跡所属山伏・伏木考猷」とある。勤行ののち行仙宿へと出発された。

持経宿は、整理整頓され綺麗だが、少々片付けやら箒で掃き、平治宿へ向う。ここもきれいに片付けされ、やる事もない。

志納金を回収(13,000円)して直ぐ戻る。只、志納金納入の貼紙が、無くなっていて次回に対処したい。

帰り誰一人にも会うことはなかった。

帰路は白谷林道へ、8km表示板前後がやはり大荒れ状態で、此処からの車での入宿はしばらく無理だ。

(記：沖崎)